



「たらこ」への支出



- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

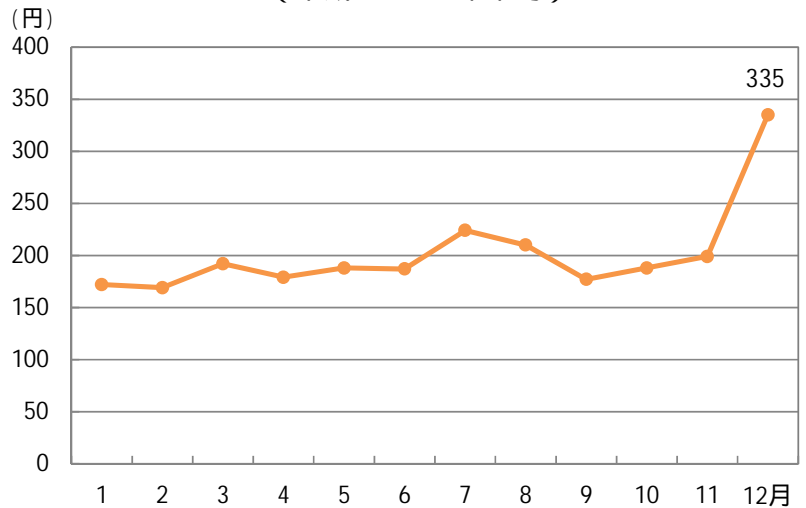
辛子明太子は、福岡県にある食品加工会社の創業者が韓国の「たらこのキムチ漬」からヒントを得て、1949（昭和24）年1月10日に商品化したのが始まりと言われています。その後、この辛子明太子は九州から全国へと広まっていき、現在ではご飯のおかずやパスタなどの料理でも広く親しまれています。

そこで今回は、「たらこ」への支出について家計調査の結果から見てみましょう。

「たらこ」への支出金額は12月に多い

平成25～27年平均の1世帯当たりのめんたいこや辛子明太子などを含む「たらこ」への支出金額を月別に見ると、お歳暮やおせち料理の準備の時期に当たる12月に支出金額が多くなっており、最も多い12月（335円）は、1月から11月までの間の1か月平均額（189円）と比べて約1.8倍となっています（図1）。

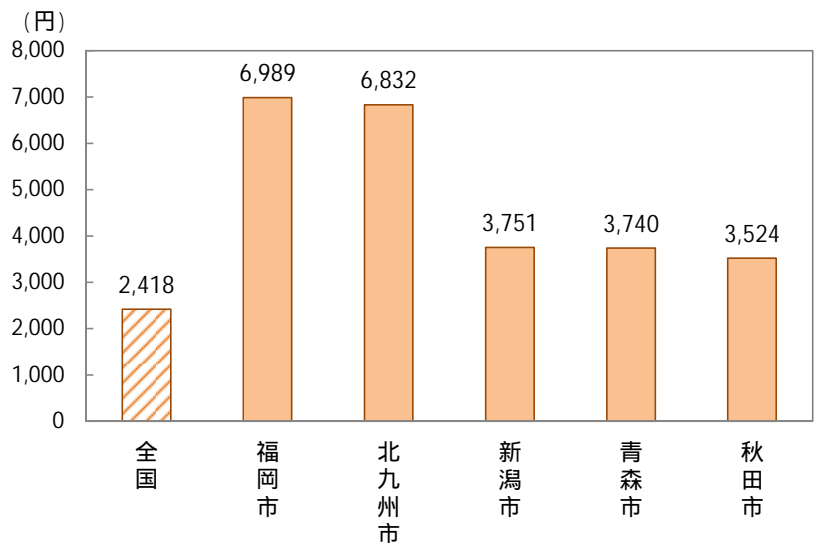
図1 「たらこ」への月別支出金額
（平成25～27年平均）



福岡県で多い「たらこ」への支出金額

次に、「たらこ」について1世帯当たりの年間支出金額（平成25～27年平均）を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、1位の福岡市は6,989円、2位の北九州市は6,832円と他の市に比べ突出して支出金額が多く、全国（2,418円）の約3倍となっています（図2）。

図2 都道府県庁所在市及び政令指定都市別
「たらこ」への年間支出金額(平成25～27年平均)



このように、「たらこ」は辛子明太子の発祥地である福岡県の食文化にしっかりと根付いていることがわかります。

